

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月22日

郡山市長 殿



提出者 福島県郡山市並木四丁目11番地

住 所 株式会社サンレー郡山

氏 名 代表取締役 鈴木順親

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 024-935-3192

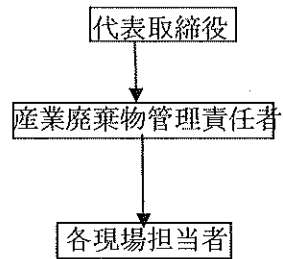
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社サンレー郡山
事業場の所在地	郡山市並木四丁目11番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	0796 解体工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 1, 153万円
③ 従業員数	10人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	【解体工事】 廃プラスチック・ガラス屑・陶磁器くず→中間処理委託(破碎) 再生利用一部埋立 紙くず・木くず・繊維くず→中間処理委託(破碎)再生利用 郡山市の処分場にて焼却処分 金属くず→中間処理委託(破碎・圧縮・切断)再生利用 がれき類→中間処理委託(破碎)→最終処分委託(埋立) コンクリート・アスファルトガラ→中間処理委託(破碎)再生利用 石綿含有産業廃棄物→中間処理委託→最終処分委託(埋立)

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙の通り

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状通り産業廃棄物を適正に分別し、削減に努める。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今まで以上に分別を徹底し、処理する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 なし

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 なし

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 なし

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙の通り			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書(別紙)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	紙くず*	木くず*	繊維くず*	金属くず*	ガラス屑	石膏ボード	がれき類	コンクリートくず	アスファルトくず	混合廃棄物	石綿含有	水銀使用製品
①現状	排出量(前年度実績)	13.24	0.61	244.12	8.80	15.64	8.59	13.08	39.82	841.82	50.47	10.89	2.58	
	これまでに実施した取組	工場受注量により増減がある為、特に取り組みは行っていない。												
②計画	排出量(目標)	10	0.3	150	5	10	5	10	30	800	1	1	2.5	0
	今後実施する予定の取組	現場施工方法により、発生量の抑制に努める。												

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス屑	石膏ボード	がれき類	コンクリートくず	アスファルトくず	混合廃棄物	石綿含有	水銀使用製品
①現状 前年度実績	全処理委託量	13.24	0.61	244.12	8.80	15.64	8.59	13.08	39.82	841.82	50.47	10.89	2.58	
	優良認定処理業者への処理委託料													
	再生利用業者への処理委託料	8.98	0.05	204.43	0.88	15.64	8.59	13.08	39.82	841.82	50.47	10.89		
	認定熱回収業者への処理委託料													
	認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託料	4.26	0.56	39.69	7.92									
	これまでに実施した取組	再生利用業者を選定し委託をしている。												
②計画 目標	全処理委託量	10	0.3	150	5	10	5	10	30	800	1	1	2.5	0
	優良認定処理業者への処理委託料													
	再生利用業者への処理委託料	10		130		10	5	10	30	800	1	1	2.5	0
	認定熱回収業者への処理委託料													
	認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託料		0.3	20	5									
	これまでに実施した取組	これまでに実施した取組を継続し、処理業者を選定する際には再生利用業者から行うことを推進する。												